



会報シルバー
たからづか

第 **171** 号

令和3年9月15日

編集発行：公益社団法人 宝塚市シルバー人材センター 広報委員会
〒665-0827 宝塚市小浜2丁目1番1号 TEL. 0797(81)7000 FAX. 0797(81)7040



活躍するシルバー会員
花のみちセルカ植栽管理業務



撮影のためマスクをはがしています

シルバー人材センター 事業普及月間

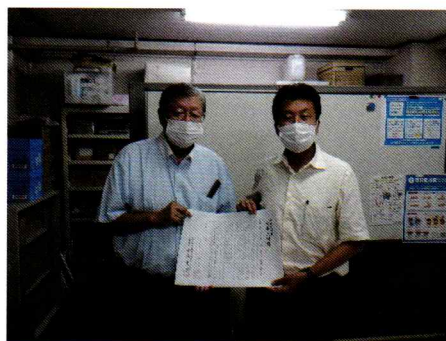
例年は10月に「シルバーの日」をはじめ「シルバーフェア」や社会奉仕活動などを展開してきましたが、今年度も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に考慮し、そのほとんどが実施できない状況であります。

当シルバー人材センターは、事業の社会的意義や活動内容を幅広く市民の皆さまや発注者さまへご理解いただくための最小限の活動は欠かせないものと、出来る限りの普及活動を行ってまいります。現時点では内容は未定ですが、会員の皆さまに活動をお願いする節にはよろしくご協力をお願いします。

◆シルバー人材センター活動への支援を要望

令和3年8月6日(金)、兵庫6区選出の大串議員へ、「社会の担い手」を実践するシルバー人材センターへの「センター事業に係わる補助金と公共事業に関して今年度

以上の確保」などを主とした支援要望書を、当センター木本理事長が提出しました。



▲大串議員へ要望書を手渡す木本理事長

◆理事長、宝塚市長と面談

令和3年6月30日(水)、当センター木本理事長と、養父市シルバー人材センター久保田理事長が宝塚市役所を訪れ山崎市長と面談しました。

学校給食で子どもたちに安心して美味しく食べてもらいたいと、養父市シルバー人材センター会員が生産した野菜を、当センターが販売する、新鮮野菜を引き続き使っていただけのようにお願いしました。

◆学校給食食材配達

6月21日(月)から7月16日(金)の間、19回にわたり市内の中学校7校、小学校10校へ給食の食材供給を行いました。



▲学校給食食材を学校別に仕分ける作業



▲山崎市長と面談する(左から)木本理事長、久保田理事長

◆センター出張相談会開催

当センターでは、市民の方々がシルバー人材センター事業に興味を持っていただくために、気軽に立ち寄れる場所を選び、定期的に出張相談会を開催しています。

今回はコープ山本店にて6月25日(金)、26日(土)、イズミヤ小林店にて7月20日(火)、31日(土)そして、アピシアにて8月20日(金)、21日(土)に開催しました。

アピシアでは会員手作り手芸品の展示販売もあり、多数のご来場をいただきました。

それぞれの相談会では、シルバー事業の紹介・新規会員募集案内のほか、入会相談を行い、入会に必要な書類をお渡ししました。



▲出張相談会の様子

安全委員会だより

◆安全就業の徹底について

お願い

今年度の当センターにおける事故件数は4・5月期損害1件、傷害1件と前年と比べて増加して始まり、6・7月期は損害4件、傷害2件とさらに増加しました。

事故を無くすためには、何よりも会員の皆さま一人ひとりが事故を起こさない強い意識をもって、安全就業に努めていただくことが大切です。

会報170号と同時に配布しました「就業中及び就業途上中における安全就業の徹底について」をよくお読みいただき、「事故ゼロ」を目指し安全就業に努めていただきますようお願いします。

◆6・7月の事故内容

令和3年7月末現在

前年度	令和3年度	
0件	5件	損害
1件	3件	傷害

●損害事故 4件

★損害事故1

機械除草作業中に小石が飛び、敷地内の隣家掃き出し窓のガラスに傷をつけた。

注意点

飛散防止ネットを設置して作業を進める際、飛散位置や範囲の状況が変わることを認識し、作業中においてもネットの位置を確認すること。

★損害事故2

依頼者宅の玄関前スペースを高圧洗浄機を使用して汚れを落としていた時、玄関横の駐車場に入庫してきたので、入庫車両との間隔を考慮し車を背に残りの作業を続けた。後日、車の所有者よりバンパーに傷が付いていると連絡があった。

注意点

高圧洗浄機など物を飛散させる恐れのある機械を使用するときは、周辺への小石などの飛散を考慮し車両の移動をお願いするなど配慮をすること。

★損害事故3

河川の機械除草作業中、道路を隔てた駐車場に停めていた電気工事業者車両に石が飛散し、フロントガラスに傷をつけた。

注意点

河川内で壁面の高さを考慮しても小石が飛ぶ可能性がある場合は、飛散防止ネットを効果的に設置して作業をすること。

★損害事故4

スーパーの屋上駐車場にてカート回収作業中、カートを仮置場まで運び、別のカゴを回収しようと手を離れた折、カートがスロープを下り駐車場に停めていた車両に接触した。

注意点

スロープなどカートが自然に流されそうな場所には置かず、きちっと平坦な場所に置き、早めに階下のカート置場に移動させること。

●傷害事故 2件

★傷害事故1

河川除草作業中、作業場所を変えるため河川の水の中を移動しようとした時、深みにはまり右足を骨折した。

注意点

河川の深みは見た目では分からないことも多く、水の中を無理に移動せず、足元をしっかりと確認すること。

★傷害事故2

道路際より河川内に入るため、降り口の梯子を使用して降りている際に作業車と梯子が接触し、その衝撃でバランスを崩し路上より約4m下の河川内にある集草の上に落下した。診断の結果、肋骨と腰骨を骨折及び鼻を裂傷した。

注意点

周囲の安全をよく確認し、特に作業車などが稼働している場所は避けるか、作業車が移動してから行動するなど時間をかけても安全な方法で作業すること。

安全標語

「まあいいか」少しの油断が
事故のもと！

柏木行夫会員 作品

◆今年度安全巡回指導実施

令和3年7月29日(木)、午前9時30分より安全委員、推進員、事務局員による安全巡回を機械除草、植木剪定、カート整理の各就業現場において順次実施しました。

機械除草およびカート整理の就業現場については、特に指摘すべき事項はありませんでした。

植木剪定の就業現場では、整理整頓は概ねなされていたが、「ヘルメットのあご紐をしつかりとめる」、「通路・道路上での脚立の置き方に留意する」、「刈込バサミについて、カバーはしてあったが立て掛けて置かれていた」、の3点を指摘事項としました。

指摘された事項について該当の就業現場には改善の周知を実施しました。

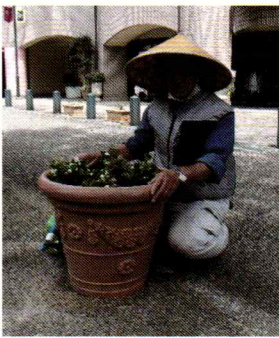
(安全委員会)

活躍するシルバー会員

花のみちセルカ植栽管理業務

今回は花のみちセルカ植栽管理業務を紹介します。花のみち「セルカ」1番館、2番館の前面道路や同ビル2階の飲食店街の通路部分に置かれているプランターの花を維持管理する業務です。「セルカ」前の道路には、いつもきれいな季節の花の咲いたプランターや花車が置かれていて、ここを通行する観光客や地元の人々の目を楽しませてくれます。

取材日には真っ赤なゼラニウムや白いペチュニアがあちらこちらに咲いていました。ここで就業されている東(あずま)徹会員にお話を聞きました。



▲植栽維持管理する会員

「季節に合わせて年に2〜3回、花の種類を変えています。最近はずラニウム、パンジー、なでしこ、ベゴニアなどを植え替えています。どこから見ても花がきれいに見えるように、花の種類や色のバランス、プランター内でのレイアウトなども工夫していますね。何しろ人通りの多い場所なので、いつも気を使っています」と話されます。

花の咲き具合や季節ごとの苗の植え替え、堆肥など気を使うことも多いとか。プランターの数も40鉢ほど。そのひとつひとつの花の状態にいつも気配りをしているそうです。それだけに観光客の方などから、「ここはいつ見ても花がきれいですね」と声をかけられると、ひじょうに嬉しく感じるそうです。

この仕事を始めてからだんだん花に興味が出てきて、自分でいろいろ勉強することも増えてきたという東会員。普段でも近所で気になる花壇などを見つけると、思わず見入ってしまうこともあるそうです。

今後の抱負などについてお聞きすると、「花の世界はまだまだ奥が深いです。これからも、もっともっ

と勉強を続けて鮮やかな花を咲かせたいですね」と話してくださいました。

(広報委員/佐野 純)



ペチュニア

ゼラニウム

互助会だより

◆一喜会ゴルフコンペ

令和3年7月16日(金)、雨のため順延になった一喜会ゴルフコンペは太平洋クラブ宝塚コースにて17名が参加して開催されました。入賞者は次のとおりです。

優勝 鵜飼 勉
準優勝 中川 久義
三位 坂本 正志

次回のコンペは大宝塚ゴルフクラブ西宮コースにて12月3日(金)、開催予定です。

事務局だより

配 分 金

支払い日のお知らせ

9月就業分 10月15日(金)
10月就業分 11月15日(月)
11月就業分 12月15日(水)

☆お願い

就業報告書の提出は、就業完了後、または翌月の3日までに提出するようお願いいたします。

就業報告書を郵送されている会員の方は当会報シルバーたからづか170号でお知らせしましたように、普通郵便の土曜日配達になります。1日より早く投函するなどご負担をおかけします。が、ご協力をよろしくお願い致します。

就業相談会を開催

未就業の会員の方を対象として就業相談会を開催します。ご希望の方は下記にてお申し込みください。

1. 開催日 令和3年10月14日(木)
午後1時～3時
2. 開催場所 当センター3階大会議室
3. 申込方法 お電話でお申し込みください。TEL:0797(81)7000

◆会員の状況(7月末現在)

会員数・平均年齢は7月末
入退会者数は6月～7月

会 員 数	861名
(男性会員数)	625名
(女性会員数)	236名
入 会 者 数	16名
退 会 者 数	15名
平 均 年 齢	74.2歳

会員の広場

俳 句

独酌で一本漬の胡瓜かな

♡ 川嶋 兼雄

願い水浴びる不動の苔の花

♡ 近藤 信一

言霊の叫びにも似て炎暑かな

♡ 中嶋 諒子

髪切つて夏の乙女になりにけり

♡ 橋本 千津子

惨いこと天災悲し青田道

♡ 羽山 淳子

水澄みて溪流に螢の戻りけり

♡ 安井 修

☆お願い

会員の広場に掲載する絵画・写真・旅行記など会員の投稿をお待ちしています。

(広報委員会)

編集後記

電車の音が聞こえる場所で作業をしているとき、作業に集中して電車の音に気付いていない、と感じた経験はありませんか。電車が10分毎に通過する、と仮定すると上り下りで1時間当たり12本通過します。後で気が付くと聞こえているはずのものが記憶にない、という状況です。▲このケースは物事に集中すると目の前の物以外は、見えない、聞こえないことを表していると思います。作業を早く仕上げるため、早く次の作業に移りたいなどと心がはやり周りが見えていないということ、そのような状況は事故を起こす一因ともなりかねません。▲作業しているとき、このように見えない、聞こえないことがあることを認識し、身の回りに危険なものはないか時々意識して見ることが大切ではないでしょうか。▲当会報誌では今後も事故が発生した場合、その都度報告しますので、ご自身の身に置き換えて、回避策などを考えていただくことが事故撲滅のひとつの対策になるかと思っています。

(広報委員) 今榮 満夫

日常でお困りのことはシルバー人材センターにご相談ください

高齢者の知識と経験を活かして、様々な仕事をお引き受けしています。依頼内容によっては対応できない仕事もありますので、まずお電話でお問合わせください。TEL 0797 (81) 7000

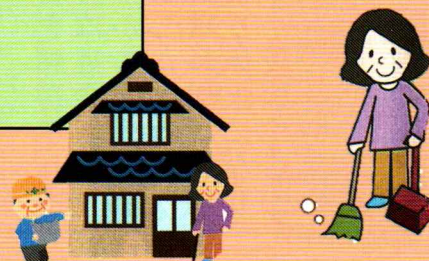
家事援助サービス

- ・室内清掃
- ・窓ガラス・網戸・換気扇など清掃
- ・食事の支度・洗濯
- ・網戸などの片付け手伝い
- ・ゴミステーションの掃除
- ・買い物…など



空き地・空き家管理

- ・外観点検
- ・清掃
- ・郵便物の確認…など



お庭の手入れ

- ・植木剪定・施肥
 - ・植木の水やり
 - ・雑草刈り(機械・手刈り)
 - ・庭の掃除…など
- * 植木の剪定は毎年3月から年間予約(4月から3月)を承っています。



事務サービス

- ・あて名・賞状書き
- ・パソコン操作指導
- ・原稿づくり…など



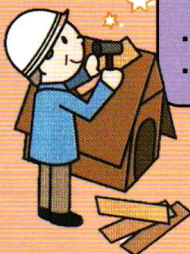
子育て支援サービス

- ・子どもとお留守番
 - ・イベントやセミナーでのお子さまの一時預かり…など
- * 2歳以上からお預かりします。(但し所定の条件有り)



家屋の手入れ

- ・簡易な大工仕事・塗装
- ・家具の組立…など



お墓の掃除

- ・水洗い
- ・雑草刈り
- ・献花…など



シルバー人材センター会員募集 就業などを通じて社会参加しませんか



シルバー人材センターの会員になるには

◎会員の条件

宝塚市在住の60歳以上の健康で働く意欲のある方で、シルバー人材センターの趣旨に賛同していただける方。

◎入会方法

入会説明会は毎月第4月曜日午後1時より開催していますので、事前に予約の上参加してください。
入会申込書・顔写真などの必要書類の提出と、会費(年額2,000円)の納入で会員となります。

☆ワークサポート宝塚内(宝塚駅前ソリオ2・7階)にてシルバー人材センター案内&相談出張所を開設しています。シルバー人材センター相談員が専用ブースで入会相談にお答えします。

開催日時 毎月第1・第3水曜日午前10時から正午まで

*ご興味のある方は、まずはシルバー人材センター事務局までお電話か、ワークサポート宝塚専用ブースまでお問合わせください。